

## 令和3年度健康づくりセミナー（行政担当者コース）研修実施報告書

## 1. 研修概要

【目的】 地域における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、健康づくり事業がより円滑に、また効果的に推進されることを目的とする。

【方法】 感染症拡大防止のため、通信型研修（動画視聴）による開催とした。

インターネット動画配信サイト（YouTube）に研修動画を掲載。

【期間】 令和3年8月6日（金）午前10時から9月3日（金）午後5時まで

## 【対象者】

- (1) 愛知県内の市町村で保健衛生、高齢福祉、保険医療部門等の業務に携わる担当者とその管理職
- (2) 愛知県内の保健所で市町村支援業務に携わる職員
- (3) 愛知県後期高齢者医療広域連合、愛知県国民健康保険団体連合会の職員

## 【カリキュラム】

テーマ「働き世代の健康づくり、円滑な地域・職域連携について、いま改めて考えよう」

時間	内容
30分	<p>【講義】</p> <p>「あいちを支える働き世代！健康づくりを職域と連携して行う意義」</p> <p>名古屋大学大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学 教授 八谷 寛 氏</p>
10分	<p>【情報提供】</p> <p>「特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価について」</p> <p>愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 課長補佐 市川 多香子 氏</p>
10分	<p>【事例紹介①】</p> <p>「医療圏域における地域・職域連携推進事業への支援」</p> <p>あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 課長 野村 恵里</p>
10分	<p>【事例紹介②】</p> <p>「大府市における働き世代の健康づくり事業～健康経営の視点から～」</p> <p>大府市健康未来部健康都市スポーツ推進課 主任 深谷 剛央 氏</p>

本年度は「働き世代の健康づくり、円滑な地域・職域連携について、いま改めて考えよう」をテーマに4人の講師に講義や情報提供、事例紹介をしていただきました。

●「あいちを支える働き世代！健康づくりを職域と連携して行う意義」

名古屋大学大学院の八谷教授より、地域・職域連携をキーワードに、生涯にわたって継続的な地域保健対策を行う必要性を学びました。健診制度の視点からみても、母子から後期高齢へとライフコースにしたがって継続性があり、地域全体の健康課題、社会環境整備を考えていく必要があります。愛知県の特典健診データや愛知職域コホートデータをお示しいただきながら、データの解釈の仕方を分かりやすくご説明いただき、早期からの働きかけの重要性についても学びました。最後は、身体活動に関するエビデンスとウォーカービリティ、近隣の環境との関連性についてもデータをお示しいただきました。



●「特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価について」

県健康対策課の市川様より、愛知県が中心となり実施してきた「特定健診・特定保健指導情報データ」の集約方法、分析の経緯やデータの特徴、分析データの活用方法について情報提供いただきました。国民健康保険、国保組合、協会けんぽ、健保組合、共済組合から収集した働き世代のデータをぜひ活用してほしいとお伝えいただきました。



●「医療圏域における地域・職域連携推進事業への支援」

当センターの野村より、2次医療圏域における地域・職域連携推進事業に対して、保健所の支援を行った経緯や内容を事例紹介しました。広域かつ構成員の交代により課題感の統一や連続的な取組みが難しいと悩む保健所担当者と共に、会議メンバーの立場や経験から「目指す先」がブレないようにアンケート調査や認識合わせ、資料や動画案の作成、ディスカッションを行いました。



●「大府市における働き世代の健康づくり事業～健康経営の視点から～」

大府市の深谷様より、大府市の特徴として、企画部門・保健部門・産業部門が連携しており、それぞれの役割が明確になっていることをご紹介いただきました。それによって、健康経営への取り組み状況に従って、関わる部署や紹介する事業が整理される、さらに商工会議所や協会けんぽなどの外部機関との連携方策について多くのヒントをいただきました。



## 2. 申込状況・視聴回数について

【申込者数】 85 人

【所属別 申込者数】

保健所	市町村	その他（国保連・広域連合）
11 人	68 人	6 人

【職種別 申込者数と割合】

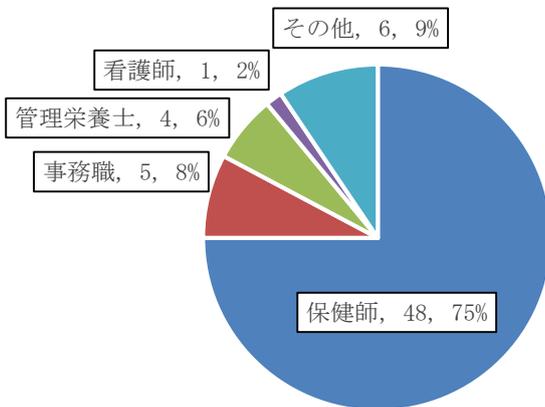
保健師	管理栄養士	事務職	歯科衛生士	その他
63 人 (74.1%)	8 人 (9.4%)	10 人 (11.8%)	1 人 (1.2%)	3 人 (3.5%)

【視聴回数】 205 回

## 3. アンケート結果について

【回収状況】 64 名から回収（回収率 75.2%）

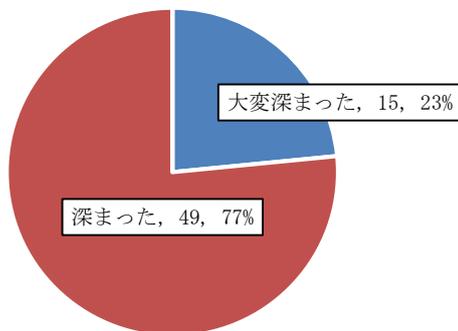
### 1 回答者の職種



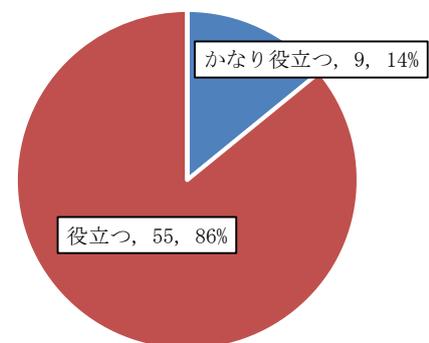
職種	人数 (人)
保健師	48
事務職	5
管理栄養士	4
看護師	1
その他	6

### 2 セミナー全体を通して

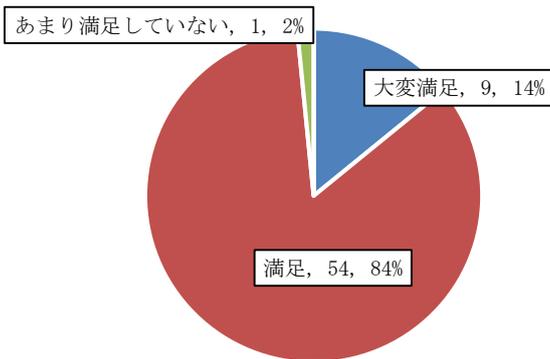
(1) 地域・職域連携についての知識が深まりましたか？



(2) 今後の業務に役立ちますか？



### (3) 満足度はいかがですか？



「あまり満足していない」の理由としては、「データの活用方法について、もう少し具体的に示していただけるといいと思いました。」というご意見がありました。

### 3 今回のセミナーを受講して、貴組織としてどんなことから始めてみようと思いますか？

(自由記載)

<データ分析・活用に関すること>

- ・八谷先生の生活習慣病予防に係る研究のデータはとても説得力があった。こうしたデータを参考に、ライフコースにおける若い世代からの生活習慣病予防の介入ができればと思う。
- ・特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価のデータを活用して、圏域の健康に関する情報を協議会にて提供する。
- ・今まで、地域・職域会議で議題にした内容について、再度、データなどを確認し、自治体として介入できることは何か見直してみたい。
- ・特定健診、特定保健指導情報データを今一度分析、評価するところから始めたいです。
- ・連携を図るためには、データを活用し可視化して情報を伝えることが非常に大事だと再認識したので、どのデータが市の特徴を反映していて、より効果的に利用できるかを分析していきたい。
- ・地域の健康状態の分析。
- ・現行の保健事業（運動・栄養教室等）に参加した住民さんの満足度や生活に取り入れたいか等の声を把握する。
- ・健康日本 21 計画の策定の最中のため、今回の研修内容を生かし、現状把握とデータ分析について、いまいちど検討し、施策を考えていきたい。
- ・まずは国保保険者が自市町村の現状や健康課題を把握するための健診・医療等データ活用の支援に力を入れたい。

<連携手法に関すること>

- ・書面だけではなく動画も活用した方法について検討してみたいと思った。
- ・現在実施している取組みの有効性、実用性を高めるため、新しいPR方法を検討したい。
- ・コロナ禍で書面開催だからとあきらめず、動画やweb会議システムを活用し、関係機関と地域・職域の継続した取組みを実施できるように今後検討していきたいと思います。

<体制に関すること>

- ・今回の研修をもとに課内で職域連携について話し合う。
- ・職域の組織と連携して、健康づくりを考えるという意識を持ち、健診事業等に取り組んでいきたい。
- ・働き世代からの健康への意識向上のため、協会けんぽ等との連携について検討したい。
- ・関係部署との顔の見える関係づくり、情報共有の仕組みづくりから取り組んでいきたい。
- ・地域職域連携推進会議において関係機関との検討。
- ・健康に関する協議会の会議の運び方について真似をしてみようと思います。
- ・大府市のように関係機関との連携が図れるようにしていきたいと思いました。
- ・特定健康診査のデータ分析を検討している市町村と連携し、健康課題の抽出や地域への理解を深めたい。

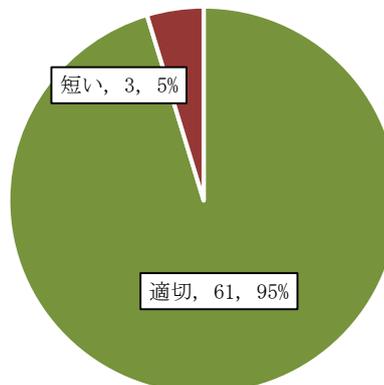
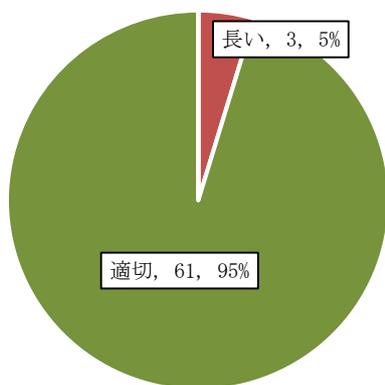
<その他>

- ・若年期からの管理、予防の重要性がわかったので、若年層への支援を考えたい。
- ・八谷先生の累積 LDL コレステロールのお話が大変興味深く、市や圏域毎に比較してみたいと感じました。
- ・高齢者保健の教室開催時に役立てるための知識として再確認していきたい。
- ・企業への健康経営の周知活動。
- ・職域への出前講座推進。

#### 4 方法について

・講義の時間はいかがでしたか？

・動画の視聴期間（約1か月間）はいかがでしたか？



#### 5 今回のセミナー全体に対して、ご感想やご意見がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

##### （9）受講者の感想（自由記載から一部抜粋）

<カリキュラムに関すること>

- ・セミナー構成の順序が、理解しやすいようになっていて、よかったです。
- ・基本的な抑えの講義と具体的な取り組み事例がありわかりやすかった。
- ・データの活用方法について、もう少し具体的に示していただけるといいと思いました。
- ・データ分析がなかなかできないので、分析を示していただけるとは大変有意義でした。
- ・長期に渡る調査結果や、保険者別の地域健康課題分析など、とてもわかりやすく、興味深いものでし

た。

- ・職域との連携は大切だと感じているが、具体的に成功事例や連携がうまくいった事例の話が聞けることは勉強になった。
- ・連携の進め方や、その具体的な内容を教えていただけるのは、当方での今後の事業展開のためにも大変参考になりました。
- ・西三河北部・南部西医療圏域の技術支援の例として、協議会の開催だけに留まることなく、具体的な取組実施のための工夫や事例についての紹介は資料もわかりやすく、大変参考になりました。
- ・分かりやすい資料でした。地域・職域連携推進ガイドラインについて、地域包括ケア会議でも同じような課題があり、連携推進のあり方にとっても参考になりました。
- ・大府市の取組みは、各部署の連携のもと、各事業所の段取組状況に応じた事業が計画されており、大変すばらしいと感じた。

#### <研修方法に関すること>

- ・コロナ対応中のため、自由な時間に動画を閲覧できたので、ありがたかったです。
- ・自分のスケジュールに合わせて視聴できることは大変ありがたかったです。
- ・YouTube 動画の利用申請に日数を要するので、視聴期間を長く設定してほしい。
- ・web のため講義中のポインターなどがわからなかった。

#### <その他>

- ・職域連携の必要性を再認識することができました。
- ・コロナ禍という状況下で、有意義な研修を開催していただきありがとうございました。

### 6 次回のセミナーについて、テーマにしたい、深めたい内容等ご記入ください。(自由記載)

- ・愛知県における一体的事業の現状と課題など具体的に教えていただけると嬉しいです。
- ・大府市のように、職域連携をしている事例をご紹介いただきたいです。
- ・医療機関との連携について難しさを感じているので、そういった講義を聞けると有難いです。
- ・産業保健センターや商工会議所などの取組みがあれば学びたいです。
- ・健康対策課のお話のデータ活用について、実際の活用事例を聞きたいです。
- ・市と保健所で連携して事業を行った事例などあればお聞きしたいです。